

つながりサポート型相談窓口設置委託事業【豊浦町】

総事業費	400 千円
交付金額	300 千円

地域の実情と課題

近年は高齢化が進み、中でも後期高齢者(75歳以上)の比率が高くなっている。加えて人口減少が進行しており、特に若年層の流出が大きいことが人口減少の要因となっている。そのため、少子高齢化と人口減少を緩和させ、女性を含む多様な層が安心して住むことができるまちづくりが課題となっており、男女が支え合う地域社会の形成に向けて、子育て支援体制の充実や政策形成過程における女性の参画を推進している。

目的・目標

新型コロナウイルス感染症の拡大にともない、町内における経済・雇用環境は厳しく推移しており、感染拡大防止により人とのつながりが薄れている現状が問題となっている。特に非正規雇用の女性に対する影響が大きいと预料されることから、相談・支援を受けられる環境を整備し、不安を抱える女性が社会から孤立せず悩まないようにつながりを回復させることを目的としている。

目標値: 相談窓口利用者数 10名、支援につなげた人数 5名

事業の特徴

新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により生活困窮や不安を抱える女性に対する相談業務を、豊浦町社会福祉協議会へ委託し、相談の内容によっては、生理用品等を提供することが可能となるように受託者が用品を購入する。

また、相談窓口設置を周知する手段として、町内の公共施設等の女子トイレに事業説明や相談窓口記載のカードを生理用品とともに設置する。

連携団体

豊浦町社会福祉協議会

事業の効果

新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により生活困窮や不安を抱えた女性が気軽に相談し、支援を受けられる環境を整えることにより、不安を抱える女性が一人で悩まないよう社会とのつながりを維持、回復させることができた。

実績値: 相談窓口利用者数 0名、支援につなげた人数 0名

アンケート回収人数 52名

相談先連絡カード配布枚数 15枚

今後の課題

相談担当の体制づくりを行ったが、目標値を達成できなかったため、制度の周知が必要。

事業の概要

目的・目標

町内における経済・雇用環境は厳しく推移しており、感染拡大防止により人とのつながりが薄れている現状が問題となっている。特に非正規雇用の女性に対する影響が大きいと预料されることから、相談・支援を受けられる環境を整備し、不安を抱える女性が社会から孤立せず悩まないようにつながりを回復させることを目的としている。

目標値：相談窓口利用者数 10名
支援につなげた人数 5名

特徴

新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により生活困窮や不安を抱える女性に対する相談業務を、豊浦町社会福祉協議会へ委託し、相談の内容によっては、生理用品等を提供することが可能となるように受託者が用品を購入する。

また、相談窓口設置を周知する手段として、町内の公共施設等の女子トイレに事業説明や相談窓口記載のカードを生理用品とともに設置する。

事業の効果

支援を受けられる環境を整えることができたものの、相談件数については課題が残る内容だった。生理用品を受け取りに来られた方にアンケートを実施し、52名のからの回答を得ることができた。

実績値：相談窓口利用者数 0名
支援につなげた人数 0名
アンケート回収人数 52名
相談先連絡カード配布枚数 15枚



アンケート内容 ()内は選択項目

- ①年齢 (10歳未満、10代、20代、30代、40代、50代以上)
- ②生理用品を買うのに苦労した回数
(ない、1~2回、3回以上、毎回、不明)
- ③生理用品を買うのに苦労した理由
(金銭的に買えない、外出できない、買うのが恥ずかしい、親に買ってもらえない、その他)
- ④その他に困りごと

課題

相談担当の体制づくりを行ったが、目標値を達成できなかったため、制度の周知が必要。

